

East Japan Railway Worker's Union
Fukushima



JR東労組 福島

第 1761 号

(本年度 47 号)

2019 年 3 月 30 日

発行責任者 安田和広

編集責任者 教宣部

福島支部第26回定期支部委員会開催



3月27日、福島支部事務所において福島支部第26回定期支部委員会を開催し、昨年の支部大会以降の総括、ならびに時期支部大会までの方針、ならびに4月から8月までの暫定予算を確立いたしました。

安田委員長は挨拶で国鉄改革はマイナスからのスタートだった。本部も地本も「新生・東労組」としてのスタートを切った。支部も運動に共感していただけるよう共に奮闘していくと挨拶がなされました。



また質疑応答においては東労組運動を再生させていく決意、そして現在職場において発生している問題など、それぞれの立場から発言がなされました。また、来賓として仙台地方本部の石戸組織部長からは施策が早い中でしっかりと対案を作り出していかなければならない。組織拡大は最大の課題である。声をかける勇気をもって今の新生・東労組運動に自信をも

って取り組んでいこうと挨拶を受けました

書記長総括答弁においては組合員の皆さんで悩みながら東労組福島支部70名の仲間の期待にこたえる運動をつくり出し、東労組再生に向けてしっかりと組織強化拡大をしていくとの答弁がなされました。

新生東労組の組合員のための運動を全組合員でつくり出していこう！

